

第5章 期待する少子化施策等

第5章 期待する少子化施策等

5-1 結婚を支援する施策

結婚を支援する施策について、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」が66.3%と最も高く、次いで「安定した雇用環境を提供すること」が47.6%、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」が33.6%となっている。

男女別では、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」（男性67.4%、女性65.7%）、「結婚した方が活用できるような税制を行うこと」（男性37.0%、女性26.1%）、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」（男性38.9%、女性30.6%）で男性の方が高く、「安定した雇用環境を提供すること」（男性42.9%、女性51.5%）、「企業のワークライフバランスを促進する政策を充実させること」（男性21.9%、女性30.6%）で女性の方が高くなっている。

年齢別では、20歳代で「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」が79.7%と多くなっている。また、年代が上がるほど、「安定した雇用環境を提供すること」が、年代が下がるほど、「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」の割合が高くなっている。

性別・子どもの有無別では、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」、「安定した雇用環境を提供すること」が男女子どもの有無に関係なく割合が高くなっている。また、女性で子どもがいない人で「企業のワークライフバランスを促進する政策を充実させること」が、男性で子どもがいる人で「結婚した方が活用できるような税制を行うこと」が多くなっている。

結婚の有無別では、「結婚した方が活用できるような税制を行うこと」（既婚34.6%、未婚20.9%）で13.7ポイント既婚の割合が高く、一方で「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」（既婚31.9%、未婚37.6%）で5.7ポイント、「賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること」（既婚64.9%、未婚69.7%）で4.8ポイント、未婚の割合が高くなっている。

図5-1 結婚を支援する施策（3つ以内選択）

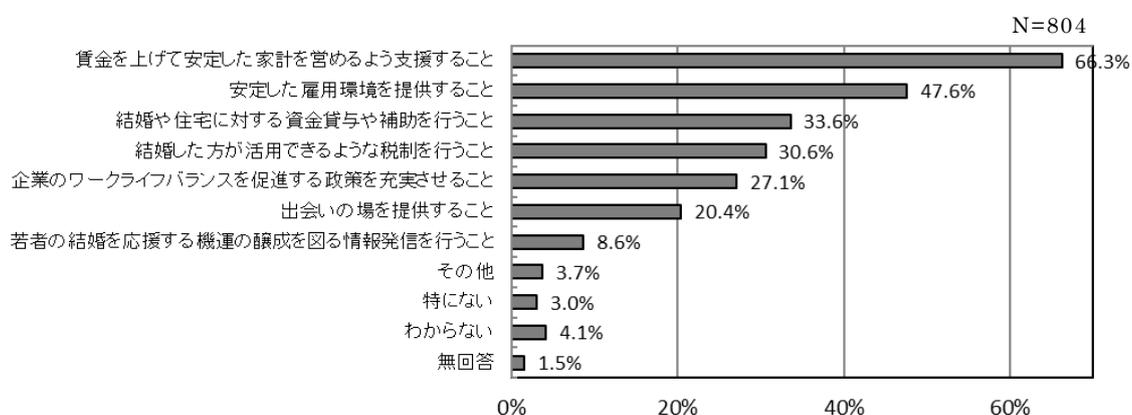


表5-1 結婚を支援する施策（3つ以内選択）

	回答者数	賃金を上げて安定した家計を営めるよう支援すること	安定した雇用環境を提供すること	結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと	結婚した方が活用できるような税制を行うこと	企業のワークライフバランスを促進する政策を充実させること	出合いの場を提供すること	若者の結婚を応援する機運の醸成を図る情報発信を行うこと	その他	特にない	わからない	無回答
総数	804	66.3%	47.6%	33.6%	30.6%	27.1%	20.4%	8.6%	3.7%	3.0%	4.1%	1.5%
男女別												
男性	319	67.4%	42.9%	38.9%	37.0%	21.9%	22.3%	10.0%	4.7%	2.5%	4.1%	1.3%
女性	464	65.7%	51.5%	30.6%	26.1%	30.6%	19.4%	7.8%	3.2%	3.2%	4.3%	0.9%
年齢別												
20歳代	143	79.7%	38.5%	51.0%	28.0%	30.8%	19.6%	7.0%	3.5%	0.7%	4.2%	0.7%
30歳代	288	65.6%	43.1%	41.7%	31.3%	27.4%	19.4%	9.0%	3.8%	3.5%	3.5%	0.7%
40歳代	349	62.2%	56.7%	20.6%	31.5%	25.8%	22.1%	9.5%	4.0%	3.4%	4.0%	1.4%
性別・子どもの有無												
男性子ども無し	149	69.8%	41.6%	41.6%	29.5%	20.8%	24.2%	7.4%	4.7%	4.0%	5.4%	0.7%
男性子ども有り	170	65.3%	44.1%	36.5%	43.5%	22.9%	20.6%	12.4%	4.7%	1.2%	2.9%	1.8%
女性子ども無し	150	67.3%	42.7%	38.7%	21.3%	34.7%	19.3%	5.3%	4.0%	4.0%	8.0%	0.7%
女性子ども有り	314	65.0%	55.7%	26.8%	28.3%	28.7%	19.4%	8.9%	2.9%	2.9%	2.5%	1.0%
結婚の有無												
既婚	570	64.9%	47.9%	31.9%	34.6%	26.5%	19.8%	10.0%	3.5%	2.6%	3.2%	1.8%
未婚	234	69.7%	47.0%	37.6%	20.9%	28.6%	21.8%	5.1%	4.3%	3.8%	6.4%	0.9%

5-2 結婚した又は結婚したい理由

結婚した又は結婚したい理由については、「好きな人と一緒に暮らしたかった(暮らしたい)から」が 57.2%と最も多く、次いで「自分の家族を持ちたかった(持ちたい)から」が 47.6%、「子どもが欲しかった(欲しい)から」が 45.9%となっている。

男女別では、「好きな人と一緒に暮らしたかった(暮らしたい)から」(男性 63.5%、女性 52.7%)で男性の割合が、「結婚した方が経済的に余裕が持てるから」(男性 5.2%、女性 12.2%)で女性の割合が高くなっている。

既婚・未婚の別では、既婚では「好きな人と一緒に暮らしたかった(暮らしたい)から」(59.4%)、「自分の家族を持ちたかった(持ちたい)から」(51.6%)、「子供が欲しかった(欲しい)から」(49.7%)の順に、未婚では「好きな人と一緒に暮らしたかった(暮らしたい)から」(49.7%)、「精神的な安らぎの場が得られるから」(40.6%)、「老後に一人でいたくないから」(35.8%)の順に割合が高くなっている。

図 5-2 結婚した又は結婚したい理由 (3つ以内選択)

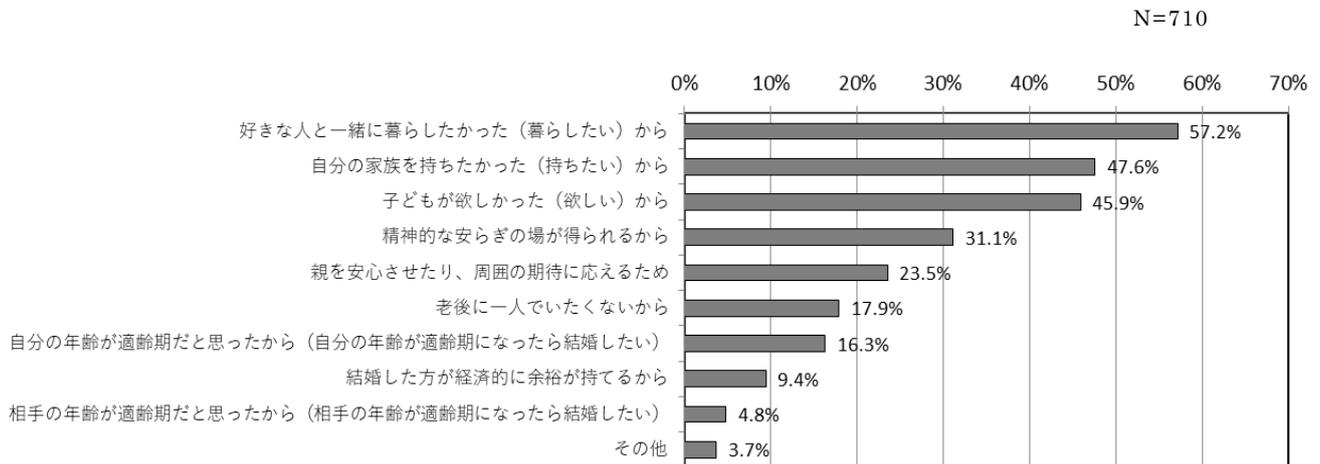


表5-2 結婚した又は結婚したい理由（3つ以内選択）

	回答者数	好きな人と一緒に暮らしたかった（暮らしたい）から	自分の家族を持ちたかった（持ちたい）から	子どもが欲しかった（欲しい）から	精神的な安らぎの場が得られるから	親を安心させたり、周囲の期待に応えるため	老後に一人でいたくないから	自分の年齢が適齢期だと思つたから（自分の年齢が適齢期になつたら結婚したい）	結婚した方が経済的に余裕が持てるから	相手の年齢が適齢期だと思つたから（相手の年齢が適齢期になつたら結婚したい）	その他
総数	710	57.2%	47.6%	45.9%	31.1%	23.5%	17.9%	16.3%	9.4%	4.8%	3.7%
男女別											
男性	271	63.5%	48.0%	42.4%	31.0%	21.4%	17.3%	13.3%	5.2%	7.4%	4.4%
女性	425	52.7%	47.1%	48.0%	31.5%	25.4%	18.1%	18.8%	12.2%	3.1%	3.1%
年齢別											
20歳代	121	59.5%	40.5%	35.5%	36.4%	32.2%	29.8%	7.4%	12.4%	1.7%	5.0%
30歳代	257	56.8%	50.2%	53.7%	30.0%	23.3%	17.1%	18.7%	9.3%	3.9%	3.1%
40歳代	315	57.1%	48.3%	43.8%	30.2%	21.0%	14.3%	18.7%	8.6%	6.7%	3.5%
男女・年齢別											
男性											
20～24歳	17	82.4%	11.8%	23.5%	35.3%	23.5%	35.3%	0.0%	11.8%	0.0%	5.9%
25～29歳	35	57.1%	31.4%	31.4%	31.4%	34.3%	28.6%	14.3%	11.4%	2.9%	5.7%
30～34歳	48	66.7%	50.0%	50.0%	31.3%	25.0%	10.4%	18.8%	4.2%	12.5%	2.1%
35～39歳	51	56.9%	60.8%	51.0%	29.4%	13.7%	17.6%	9.8%	7.8%	3.9%	3.9%
40～44歳	56	60.7%	57.1%	48.2%	30.4%	19.6%	14.3%	12.5%	0.0%	12.5%	5.4%
45～49歳	62	69.4%	48.4%	37.1%	29.0%	17.7%	12.9%	16.1%	3.2%	6.5%	4.8%
女性											
20～24歳	24	41.7%	58.3%	41.7%	29.2%	41.7%	25.0%	0.0%	4.2%	0.0%	8.3%
25～29歳	43	62.8%	46.5%	39.5%	44.2%	27.9%	32.6%	9.3%	18.6%	2.3%	2.3%
30～34歳	67	53.7%	41.8%	52.2%	25.4%	25.4%	20.9%	20.9%	11.9%	1.5%	3.0%
35～39歳	91	53.8%	50.5%	58.2%	33.0%	26.4%	17.6%	22.0%	11.0%	1.1%	3.3%
40～44歳	100	54.0%	51.0%	49.0%	27.0%	24.0%	13.0%	20.0%	13.0%	6.0%	2.0%
45～49歳	95	50.5%	41.1%	40.0%	34.7%	21.1%	14.7%	23.2%	11.6%	4.2%	3.2%
性別・子どもの有無											
男性子ども無し	108	63.0%	35.2%	32.4%	37.0%	26.9%	27.8%	9.3%	6.5%	3.7%	3.7%
男性子ども有り	163	63.8%	56.4%	49.1%	27.0%	17.8%	10.4%	16.0%	4.3%	9.8%	4.9%
女性子ども無し	124	49.2%	36.3%	33.9%	44.4%	35.5%	31.5%	6.5%	17.7%	3.2%	2.4%
女性子ども有り	301	54.2%	51.5%	53.8%	26.2%	21.3%	12.6%	23.9%	10.0%	3.0%	3.3%
結婚の有無											
既婚	545	59.4%	51.6%	49.7%	28.3%	20.6%	12.5%	20.2%	7.3%	5.5%	3.5%
未婚	165	49.7%	34.5%	33.3%	40.6%	33.3%	35.8%	3.6%	16.4%	2.4%	4.2%
就業形態別											
正社員・正規職員	400	60.0%	47.8%	45.3%	32.3%	23.8%	21.5%	15.5%	7.8%	5.5%	4.0%
派遣・契約・期限付きの社員・職員	33	42.4%	42.4%	33.3%	33.3%	21.2%	21.2%	18.2%	27.3%	3.0%	3.0%
パート・アルバイト・非常勤	145	55.9%	43.4%	48.3%	30.3%	25.5%	9.0%	20.0%	9.7%	4.1%	3.4%
自営業・家族従業	31	48.4%	45.2%	51.6%	22.6%	12.9%	16.1%	3.2%	6.5%	6.5%	9.7%
内職・在宅勤務	3	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	22	50.0%	45.5%	31.8%	36.4%	36.4%	22.7%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%
専業主婦・主夫	53	54.7%	64.2%	56.6%	26.4%	22.6%	11.3%	26.4%	7.5%	1.9%	0.0%
無職	5	40.0%	20.0%	20.0%	40.0%	60.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%
その他	8	50.0%	25.0%	12.5%	50.0%	12.5%	25.0%	37.5%	0.0%	0.0%	12.5%

5-3 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策

安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策については、「出産育児一時金(50万円)を増額する」が45.1%（前回34.7%）と最も割合が多く、次いで「不妊治療に対する助成を拡充する」が38.9%（前回33.6%）、「産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を推進する」が38.6%（前回43.6%）の順となっている。

男女別では、「出産育児一時金(50万円)を増額する」が男性で54.5%、女性で39.2%と共に高く、男性で「産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を推進する」(38.9%)が、女性で「不妊治療に対する助成を拡充する」(41.4%)が高くなっている。

年齢別では、20歳代、30歳代で「出産育児一時金(50万円)を増額する」、40歳代で「不妊治療に対する助成を拡充する」が多くなっている。

性別・子どもの有無別では、「産後ケア事業などの母子保健サービスを充実する」、「妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口（子育て世代包括支援センター等）の充実」が男女ともに子どものいる人より子どものいない人で割合が高くなっている。

図5-3 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策（3つ以内選択）

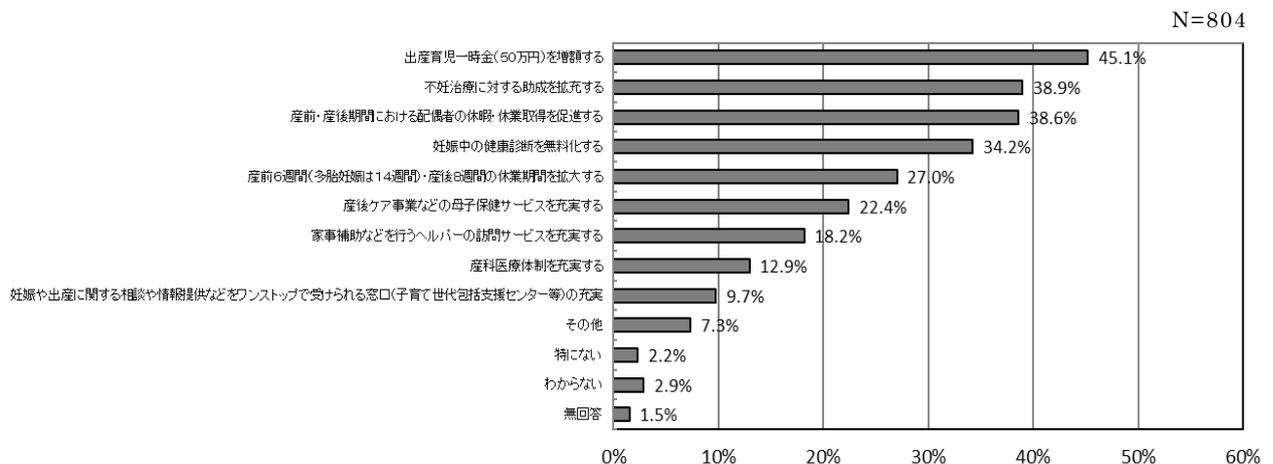


表5-3-1 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策（3つ以内選択）

	回答者数	出産育児一時金（50万円）を増額する	不妊治療に対する助成を拡充する	産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を促進する	妊娠中の健康診断を無料化する	産前6週間（多胎妊娠は14週間）・産後8週間の休業期間を拡大する	産後ケア事業などの母子保健サービスを充実する	家事補助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する	産科医療体制を充実する	妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口（子育て世代包括支援センター等）の充実	その他	特になし	わからない	無回答
総数	804	45.1%	38.9%	38.6%	34.2%	27.0%	22.4%	18.2%	12.9%	9.7%	7.3%	2.2%	2.9%	1.5%
男女別														
男性	319	54.5%	36.1%	38.9%	30.1%	28.5%	23.5%	12.9%	11.9%	9.1%	8.2%	4.4%	4.1%	0.6%
女性	464	39.2%	41.4%	38.8%	37.3%	26.5%	22.0%	21.8%	13.8%	9.9%	6.5%	0.6%	2.2%	1.5%
年齢別														
20歳代	143	58.7%	26.6%	41.3%	42.7%	32.9%	22.4%	11.2%	10.5%	9.8%	7.7%	2.1%	4.2%	2.1%
30歳代	288	47.9%	42.0%	40.6%	34.0%	31.9%	23.6%	19.1%	13.2%	8.0%	7.3%	1.0%	1.4%	0.7%
40歳代	349	38.1%	43.0%	36.4%	31.8%	21.5%	22.6%	20.1%	13.8%	10.5%	7.4%	3.2%	3.2%	1.4%
性別・子どもの有無														
男性子ども無し	149	47.7%	29.5%	35.6%	30.9%	28.9%	27.5%	11.4%	12.8%	12.8%	10.1%	5.4%	5.4%	0.0%
男性子ども有り	170	60.6%	41.8%	41.8%	29.4%	28.2%	20.0%	14.1%	11.2%	5.9%	6.5%	3.5%	2.9%	1.2%
女性子ども無し	150	45.3%	40.0%	38.0%	36.0%	28.7%	23.3%	20.7%	11.3%	12.7%	4.0%	0.0%	5.3%	2.7%
女性子ども有り	314	36.3%	42.0%	39.2%	37.9%	25.5%	21.3%	22.3%	15.0%	8.6%	7.6%	1.0%	0.6%	1.0%
就業形態別														
正社員・正規職員	444	50.5%	40.5%	40.8%	32.4%	30.4%	23.0%	17.1%	11.9%	7.4%	8.8%	2.9%	2.5%	0.5%
派遣・契約・期限付きの社員・職員	43	41.9%	20.9%	27.9%	32.6%	23.3%	25.6%	27.9%	16.3%	14.0%	9.3%	0.0%	7.0%	2.3%
パート・アルバイト・非常勤	155	35.5%	40.6%	39.4%	34.8%	25.8%	21.9%	20.0%	12.9%	16.1%	3.9%	0.6%	1.3%	1.9%
自営業・家族従業	35	45.7%	57.1%	34.3%	22.9%	17.1%	14.3%	17.1%	17.1%	0.0%	8.6%	5.7%	2.9%	2.9%
内職・在宅勤務	3	66.7%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
学生	31	48.4%	16.1%	32.3%	51.6%	32.3%	16.1%	9.7%	6.5%	12.9%	9.7%	0.0%	9.7%	6.5%
専業主婦・主夫	54	42.6%	46.3%	40.7%	44.4%	18.5%	25.9%	18.5%	16.7%	1.9%	3.7%	0.0%	1.9%	0.0%
無職	11	18.2%	27.3%	36.4%	27.3%	18.2%	27.3%	18.2%	9.1%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%
その他	12	25.0%	41.7%	25.0%	41.7%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%
1週間の労働時間別														
20時間未満	204	43.1%	39.2%	39.7%	33.3%	25.0%	22.5%	20.6%	13.2%	8.8%	7.4%	2.0%	2.5%	2.0%
20～40時間未満	128	34.4%	43.0%	34.4%	42.2%	27.3%	20.3%	21.9%	10.9%	14.8%	4.7%	0.8%	2.3%	0.8%
40～50時間未満	173	49.7%	39.9%	39.9%	27.2%	35.8%	20.8%	16.2%	11.6%	9.2%	9.8%	1.7%	3.5%	1.2%
50～60時間未満	111	53.2%	41.4%	45.0%	32.4%	22.5%	29.7%	18.0%	16.2%	9.0%	7.2%	0.9%	0.0%	0.0%
60時間以上	52	61.5%	34.6%	25.0%	30.8%	28.8%	15.4%	15.4%	11.5%	3.8%	7.7%	11.5%	5.8%	1.9%

表5-3-2 安心して妊娠・出産ができる環境を整備する施策（前回調査）

	回答者数	産前・産後期間における配偶者の休暇・休業取得を促進する	出産育児一時金（42万円）を増額する	妊娠中の健康診断を無料化する	不妊治療に対する助成を拡充する	産前6週間（多胎妊娠は14週間）・産後8週間の休業期間を拡大する	産後ケア事業などの母子保健サービスを充実する	産科医療体制を充実する	家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実する	妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口（子育て世代包括支援センター等）の充実	その他	特になし	わからない	無回答
総数	971	43.6%	34.7%	34.1%	33.6%	22.2%	19.5%	16.1%	13.2%	7.9%	1.4%	1.9%	5.1%	3.9%
男女別														
男性	385	39.2%	41.0%	29.4%	30.4%	22.6%	19.5%	16.1%	9.9%	7.8%	1.0%	2.1%	7.8%	3.1%
女性	571	47.3%	31.0%	37.5%	36.3%	22.4%	19.6%	16.3%	15.6%	8.2%	1.8%	1.8%	3.3%	3.3%

5-4 育児を支援する施策

育児を支援する施策として何が重要かについて、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」が56.6%（前回48.3%）と最も高く、次いで「教育費への支援を充実する」が35.0%（前回29.6%）、「保育所の時間延長や一時預かりなど、多様な保育サービスを充実する」が34.0%（前回28.5%）となっている。

男女別では、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」（男性60.5%、女性54.7%）は男性の割合が多く、「育児休業をとりやすい職場環境を整備する」（男性17.2%、女性23.9%）、「時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する」（男性20.1%、女性23.7%）は女性の割合が高くなっている。

年齢別では、年代が下がるほど、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」、「保育料に対する支援を充実する」、「時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する」の割合が高くなっている。

性別・子どもの有無別では、「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」、「教育費への支援を充実する」では男女ともに子どものいない人より子どものいる人で割合が高くなっている。一方で「時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する」は男女ともに子どものいない人で割合が高くなっている。

就業形態別では、すべての就業形態で「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」の割合が最も高くなっている。

世帯年収別では、すべての年収別で「児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する」が最も高くなっている。

図5-4 育児を支援する施策（3つ以内選択）

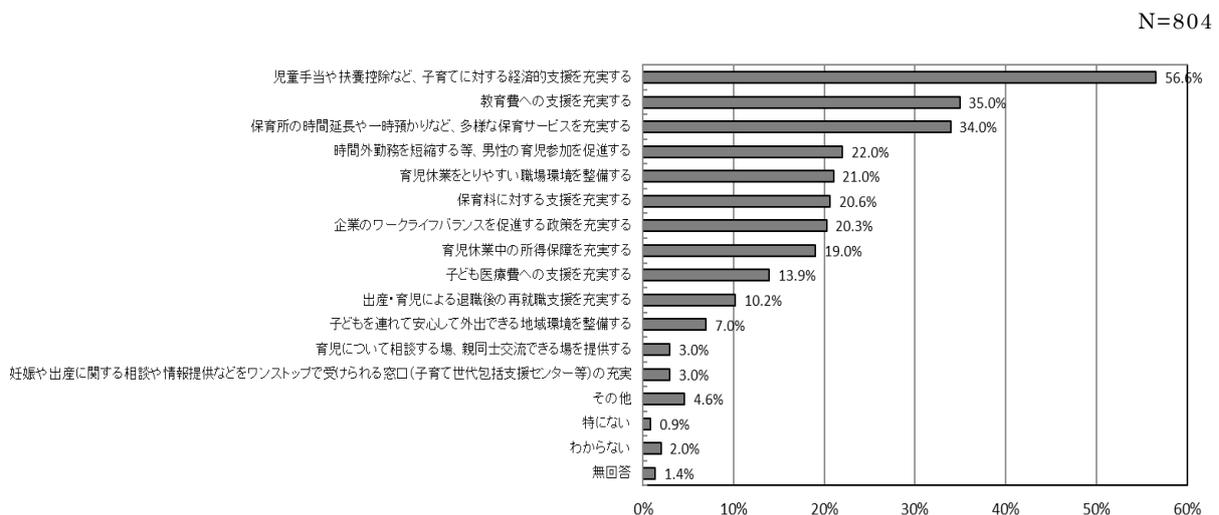


表5-4 育児を支援する施策（3つ以内選択）

回答者数	児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する	教育費への支援を充実する	保育所の時間延長や一時預かりなど、多様な保育サービスを充実する	時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する	育児休業をとりやすい職場環境を整備する	保育料に対する支援を充実する	企業のワークライフバランスを促進する政策を充実する	育児休業中の所得保障を充実する	子ども医療費への支援を充実する	出産・育児による退職後の再就職支援を充実する	子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する	育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する	妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口（子育て世代包括支援センター等）の充実	その他	特になし	わからない	無回答		
総数	804	56.6%	35.0%	34.0%	22.0%	21.0%	20.6%	20.3%	19.0%	13.9%	10.2%	7.0%	3.0%	3.0%	4.6%	0.9%	2.0%	1.4%	
男女別																			
男性	319	60.5%	34.5%	34.2%	20.1%	17.2%	22.6%	22.6%	19.7%	14.7%	6.0%	5.6%	2.8%	2.5%	5.6%	2.2%	2.5%	0.3%	
女性	464	54.7%	34.9%	33.4%	23.7%	23.9%	19.6%	19.4%	18.5%	13.6%	13.6%	7.8%	3.0%	3.4%	3.9%	0.0%	1.7%	1.5%	
年齢別																			
20歳代	143	65.0%	34.3%	27.3%	28.0%	21.7%	25.2%	20.3%	20.3%	12.6%	11.2%	5.6%	1.4%	3.5%	4.2%	1.4%	3.5%	0.7%	
30歳代	288	59.7%	29.5%	37.2%	24.0%	24.0%	24.0%	17.4%	25.0%	12.2%	11.8%	7.6%	2.4%	1.4%	4.9%	0.0%	0.3%	0.7%	
40歳代	349	51.3%	39.8%	34.4%	18.6%	18.9%	17.2%	23.2%	14.0%	16.0%	9.2%	6.6%	3.7%	4.0%	4.6%	1.4%	2.6%	1.7%	
性別・子どもの有無																			
男性子ども無し	149	53.0%	30.9%	30.9%	22.8%	16.8%	24.8%	20.8%	18.1%	17.4%	8.7%	5.4%	4.0%	2.7%	7.4%	2.7%	4.0%	0.0%	
男性子ども有り	170	67.1%	37.6%	37.1%	17.6%	17.6%	20.6%	24.1%	21.2%	12.4%	3.5%	5.9%	1.8%	2.4%	1.8%	1.2%	0.6%	0.6%	
女性子ども無し	150	49.3%	20.0%	37.3%	29.3%	28.0%	18.0%	18.0%	20.7%	11.3%	13.3%	10.0%	4.0%	4.7%	3.3%	0.0%	4.7%	1.3%	
女性子ども有り	314	57.3%	42.0%	31.5%	21.0%	22.0%	20.4%	20.1%	17.5%	14.6%	13.7%	6.7%	2.5%	2.9%	4.1%	0.0%	0.3%	1.6%	
就業形態別																			
正社員・正規職員	444	56.5%	33.6%	36.5%	23.9%	18.5%	21.4%	24.3%	23.9%	11.9%	7.9%	6.3%	3.4%	3.2%	6.3%	0.9%	1.6%	0.5%	
派遣・契約・期限付き社員・職員	43	51.2%	32.6%	32.6%	18.6%	16.3%	27.9%	16.3%	16.3%	18.6%	16.3%	14.0%	2.3%	2.3%	0.0%	0.0%	2.3%	2.3%	
パート・アルバイト・非常勤	155	57.4%	39.4%	30.3%	21.9%	26.5%	17.4%	16.8%	7.7%	16.1%	14.2%	8.4%	2.6%	3.2%	3.2%	0.0%	2.6%	1.9%	
自営業・家族従業	35	54.3%	45.7%	31.4%	8.6%	20.0%	25.7%	14.3%	17.1%	25.7%	5.7%	5.7%	2.9%	2.9%	5.7%	2.9%	2.9%	0.0%	
内職・在宅勤務	3	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
学生	31	64.5%	32.3%	32.3%	29.0%	22.6%	19.4%	19.4%	25.8%	16.1%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	3.2%		
専業主婦・主夫	54	59.3%	37.0%	25.9%	22.2%	22.2%	9.3%	9.3%	16.7%	13.0%	25.9%	11.1%	1.9%	3.7%	1.9%	0.0%	1.9%	1.9%	
無職	11	54.5%	18.2%	45.5%	9.1%	36.4%	36.4%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	
その他	12	58.3%	25.0%	25.0%	8.3%	41.7%	41.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	8.3%	
世帯年収別																			
300万円未満	65	52.3%	33.8%	30.8%	24.6%	30.8%	18.5%	18.5%	12.3%	10.8%	18.5%	6.2%	3.1%	6.2%	1.5%	0.0%	1.5%	3.1%	
300万円以上500万円未満	153	56.9%	36.6%	26.8%	24.2%	21.6%	23.5%	14.4%	19.0%	13.7%	10.5%	7.8%	2.6%	2.0%	7.2%	1.3%	3.9%	0.7%	
500万円以上700万円未満	197	65.5%	34.0%	35.5%	19.3%	19.8%	20.3%	19.8%	20.3%	14.2%	11.7%	8.6%	2.5%	2.0%	2.5%	0.0%	1.5%	0.5%	
700万円以上1,000万円未満	187	60.4%	35.3%	38.0%	19.3%	16.6%	24.1%	22.5%	23.0%	13.4%	5.9%	6.4%	2.1%	2.1%	5.9%	1.1%	1.1%	1.1%	
1,000万円以上	142	45.8%	38.7%	33.8%	26.1%	21.1%	17.6%	26.8%	16.9%	13.4%	8.5%	3.5%	3.5%	4.2%	4.9%	2.1%	1.4%	2.1%	

表5-4-2 育児を支援する政策（3つ以内選択）（前回調査）

回答者数	児童手当や扶養控除など、子育てに対する経済的支援を充実する	教育費への支援を充実する	保育所の時間延長や保育ママなど、多様な保育サービスを充実する	育児休業をとりやすい職場環境を整備する	フレックスタイトムの導入など、柔軟な働き方を推し進める	時間外勤務を短縮する等、男性の育児参加を促進する	出産・育児による退職後の再就職支援を充実する	育児休業中の所得保障を充実する	子ども医療費への支援を充実する	子どもを連れて安心して外出できる地域環境を整備する	育児について相談する場、親同士交流できる場を提供する	妊娠や出産に関する相談や情報提供などをワンストップで受けられる窓口（子育て世代包括支援センター等）の充実	その他	特になし	わからない	無回答	
総数	971	48.3%	29.6%	28.5%	26.9%	23.0%	21.4%	17.7%	15.6%	15.2%	9.1%	5.9%	4.0%	3.2%	1.4%	2.4%	3.6%

5-5 地域における住民同士の助け合い

地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動があればいいと思うかについては、「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」が43.8%と最も高く、次いで「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」が37.7%、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」が31.7%の順となっている。

年齢別では、年代が下がるほど、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」、「子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動」が、年代が上がるほど、「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」の割合が高くなっている。

性別・子どもの有無別では、子どものいる男女で「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」（男性50.6%、女性48.4%）の割合が高く、子どもがいない男女で、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」（男性37.6%、女性43.3%）、「子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動」（男性23.5%、女性26.0%）の割合が高くなっている。

図5-5 地域における住民同士の助け合い（3つ以内選択）

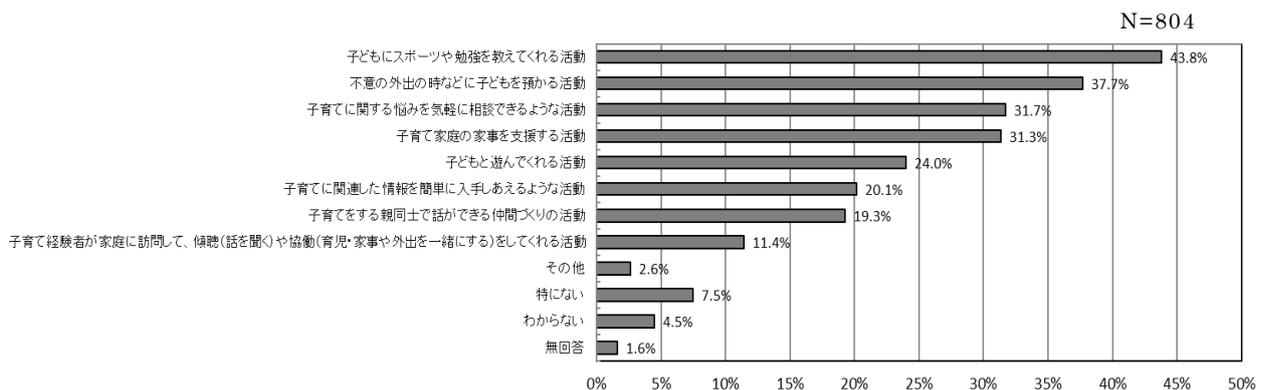


表5-5 地域における住民同士の助け合い（3つ以内選択）

	回答者数	子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動	不意の外出の時などに子どもを預かる活動	子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動	子育て家庭の家事を支援する活動	子どもと遊んでくれる活動	子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動	子育てをする親同士で話しができる仲間づくりの活動	子育て経験者が家庭に訪問して、傾聴（話を聞く）や協働（育児・家事や外出を一緒にする）をしてくれる活動	その他	特にない	わからない	無回答
総数	804	43.8%	37.7%	31.7%	31.3%	24.0%	20.1%	19.3%	11.4%	2.6%	7.5%	4.5%	1.6%
男女別													
男性	319	46.1%	33.5%	35.4%	29.8%	20.4%	21.9%	20.4%	11.6%	3.4%	10.7%	4.4%	1.3%
女性	464	42.7%	39.9%	29.1%	32.1%	26.5%	19.2%	19.2%	11.2%	2.2%	5.6%	4.3%	1.5%
年齢別													
20歳代	143	37.8%	36.4%	39.2%	33.6%	14.0%	28.0%	25.2%	19.6%	2.1%	6.3%	5.6%	1.4%
30歳代	288	43.4%	39.9%	32.3%	31.6%	28.1%	19.1%	19.1%	9.7%	3.1%	8.7%	3.8%	1.0%
40歳代	349	47.3%	35.8%	28.1%	30.9%	25.2%	18.1%	18.1%	9.7%	2.6%	7.2%	4.3%	1.7%
性別・子どもの有無													
男性子ども無し	149	40.9%	38.9%	37.6%	26.8%	15.4%	23.5%	22.1%	15.4%	4.0%	9.4%	4.7%	0.7%
男性子ども有り	170	50.6%	28.8%	33.5%	32.4%	24.7%	20.6%	18.8%	8.2%	2.9%	11.8%	4.1%	1.8%
女性子ども無し	150	30.7%	38.0%	43.3%	36.0%	16.7%	26.0%	21.3%	14.0%	0.0%	3.3%	6.7%	2.7%
女性子ども有り	314	48.4%	40.8%	22.3%	30.3%	31.2%	15.9%	18.2%	9.9%	3.2%	6.7%	3.2%	1.0%

5-6 はぐみん・はぐみんデーの認知度

(1) はぐみんの認知度

本県の『子育て・子育て応援マスコットキャラクター（はぐみん）』の認知度は、「見たことがあり、名前も知っている」が51.7%（前回48.8%）、「見たことはあるが、名前は知らなかった」が9.8%（前回7.9%）、「見たことがなく、名前も知らなかった」が36.8%（前回41.7%）と前回調査より認知度は上昇している。

男女別では、「見たことがあり、名前も知っている」が男性36.1%（前回29.4%）、女性64.4%（前回62.5%）と男女ともに上昇している。

性別・子どもの有無別では、女性で子どもがいる人では「見たことがあり、名前も知っている」が（79.0%）と認知度が高くなっているが、男女とも子どものいない人では「見たことがなく、名前も知らなかった」の割合が多くなっている。

図5-6-1 はぐみんの認知度

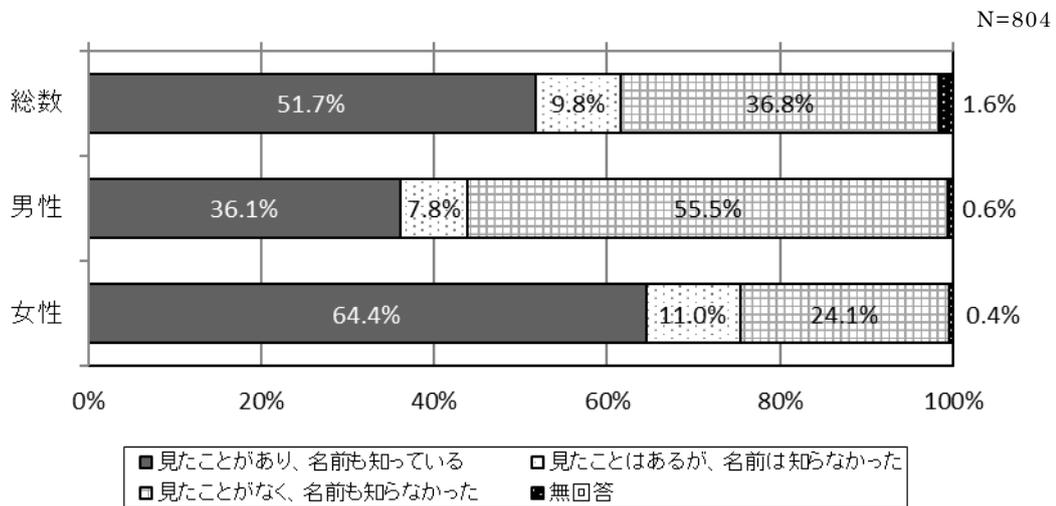


表5-6-1 はぐみんの認知度

	回答者数	見たことがあり、名前も知っている	見たことはあるが、名前は知らなかった	見たことがなく、名前も知らなかった	無回答
総数	804	51.7%	9.8%	36.8%	1.6%
男女別					
男性	319	36.1%	7.8%	55.5%	0.6%
女性	464	64.4%	11.0%	24.1%	0.4%
年齢別					
20歳代	143	37.8%	14.7%	46.9%	0.7%
30歳代	288	50.7%	10.8%	38.5%	0.0%
40歳代	349	59.9%	7.7%	32.1%	0.3%
性別・子どもの有無					
男性子ども無し	149	18.8%	9.4%	71.1%	0.7%
男性子ども有り	170	51.2%	6.5%	41.8%	0.6%
女性子ども無し	150	34.0%	16.7%	48.0%	1.3%
女性子ども有り	314	79.0%	8.3%	12.7%	0.0%

図 5 - 6 - 2 はぐみんの認知度（前回調査）

N=971

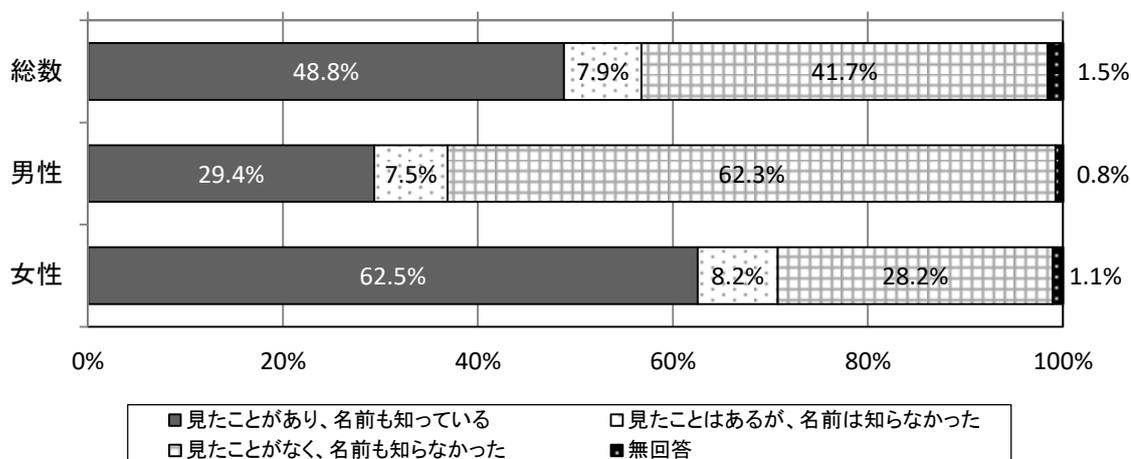


表 5 - 6 - 2 はぐみんの認知度（前回調査）

	回答者数	見たことがあり、名前も知っている	見たことはあるが、名前は知らなかった	見たことがなく、名前も知らなかった	無回答
総数	971	48.8%	7.9%	41.7%	1.5%
男女別					
男性	385	29.4%	7.5%	62.3%	0.8%
女性	571	62.5%	8.2%	28.2%	1.1%
年齢別					
20歳代	184	39.7%	8.2%	51.1%	1.1%
30歳代	334	50.6%	6.9%	41.6%	0.9%
40歳代	431	52.2%	8.6%	38.3%	0.9%
性別・子どもの有無					
男性子ども無し	174	11.5%	5.2%	82.8%	0.6%
男性子ども有り	207	44.9%	9.7%	44.4%	1.0%
女性子ども無し	194	31.4%	7.2%	59.8%	1.5%
女性子ども有り	372	79.3%	8.3%	11.8%	0.5%

(2) はぐみんデーの認知度

本県で定めた毎月 19 日の「子育て応援の日（はぐみんデー）」の認知度について、「趣旨・内容についてよく知っている」が 3.9%（前回 3.3%）、「趣旨・内容について少しは知っている」が 9.1%（前回 10.6%）であり、「子育て応援の日（はぐみんデー）」の認知度はほぼ横ばいである。

男女別では、男性が「趣旨・内容についてよく知っている」（4.7%）、「趣旨・内容について少しは知っている」（6.6%）、女性が「趣旨・内容についてよく知っている」（3.4%）、「趣旨・内容について少しは知っている」（11.2%）であり、女性の方が認知度は高くなっている。

性別・子どもの有無別では、男女ともに子どものいる人の方が認知度は高くなっている。

図 5-6-3 はぐみんデーの認知度

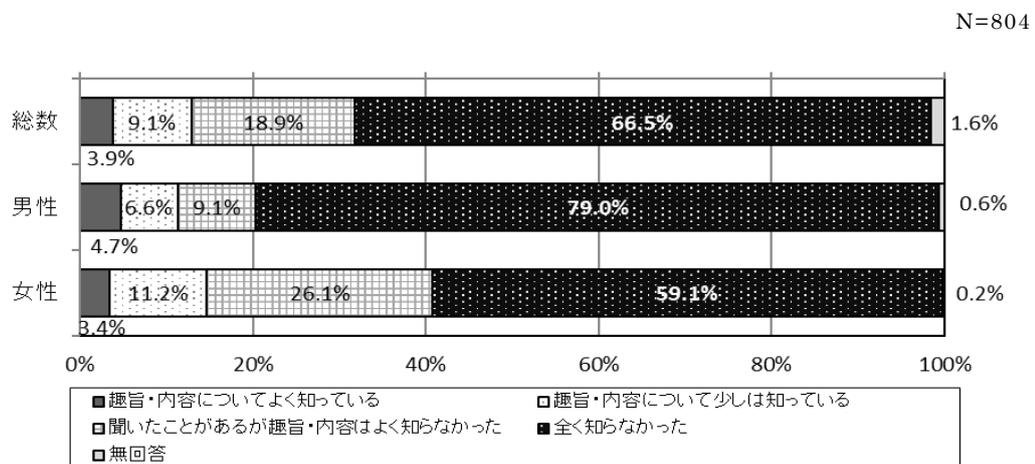


表 5-6-3 はぐみんデーの認知度

	回答者数	趣旨・内容についてよく知っている	趣旨・内容について少しは知っている	聞いたことがあるが趣旨・内容はよく知らなかった	全く知らなかった	無回答
総数	804	3.9%	9.1%	18.9%	66.5%	1.6%
男女別						
男性	319	4.7%	6.6%	9.1%	79.0%	0.6%
女性	464	3.4%	11.2%	26.1%	59.1%	0.2%
年齢別						
20歳代	143	2.1%	3.5%	22.4%	71.3%	0.7%
30歳代	288	4.5%	7.6%	16.3%	71.2%	0.3%
40歳代	349	4.3%	12.9%	20.1%	62.5%	0.3%
性別・子どもの有無						
男性子ども無し	149	2.7%	4.0%	8.1%	84.6%	0.7%
男性子ども有り	170	6.5%	8.8%	10.0%	74.1%	0.6%
女性子ども無し	150	0.7%	4.0%	18.7%	76.0%	0.7%
女性子ども有り	314	4.8%	14.6%	29.6%	51.0%	0.0%

図 5 - 6 - 4 はぐみんデーの認知度（前回調査）

N=971

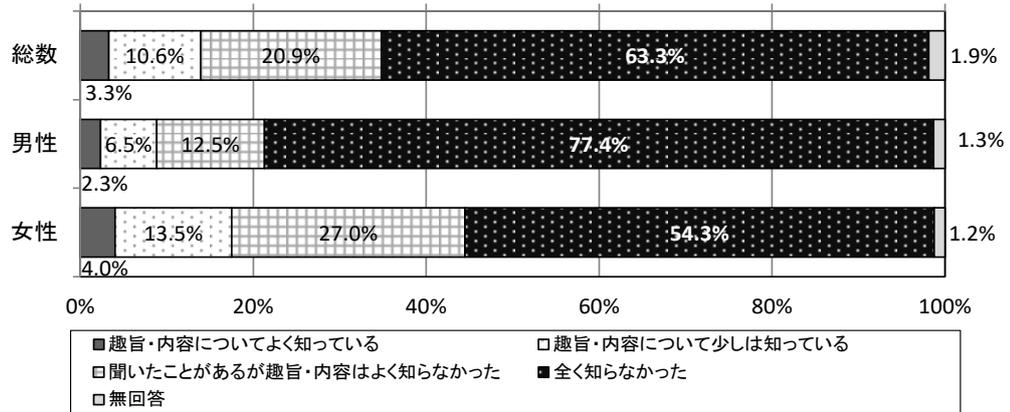


表 5 - 6 - 4 はぐみんデーの認知度（前回調査）

	回答者数	趣旨・内容についてよく知っている	趣旨・内容について少しは知っている	聞いたことがあるが趣旨・内容はよく知らなかった	全く知らなかった	無回答
総数	971	3.3%	10.6%	20.9%	63.3%	1.9%
男女別						
男性	385	2.3%	6.5%	12.5%	77.4%	1.3%
女性	571	4.0%	13.5%	27.0%	54.3%	1.2%
年齢別						
20歳代	184	3.3%	9.8%	15.8%	70.1%	1.1%
30歳代	334	3.3%	9.9%	21.9%	63.8%	1.2%
40歳代	431	3.5%	11.8%	22.7%	60.6%	1.4%
性別・子どもの有無						
男性子ども無し	174	0.6%	2.9%	7.5%	88.5%	0.6%
男性子ども有り	207	3.9%	9.7%	16.9%	67.6%	1.9%
女性子ども無し	194	0.5%	8.2%	11.3%	78.4%	1.5%
女性子ども有り	372	5.9%	16.4%	34.9%	42.2%	0.5%